

【テーマ2】 安全で快適な通りのデザイン

【あがたの森通りの歩道の傾斜箇所】



【あがたの森通りの歩道・自転車通行帯の劣化状況及び通行障害要素】



- シーン① 自転車専用通行帯の現状 1
- シーン② 傾斜、段差がある歩道の改善 2
- シーン③ 夏の歩道の快適性確保 3
- シーン④ 雨天時、豪雨時の快適性・安全性の確保 . . . 4
- ⑧参考：他都市の事例 5

シーン① 自転車専用通行帯の現状



自転車専用通行帯がない区間



植栽のはみだし、文字消え



滑りやすいグレーチング



舗装の亀裂



道路整備中のエリア3

■これまでに出了た意見・アイデア

- ・自転車の通行帯の整備が必要。
- ・歩道とのすみわけが明確でない
- ・フラットで誰もが安全に通行できる、誘導し危険運転を減らす など

▶参考

前回ワークショップで
挙げられた参考になる
他都市の事例写真



山形市ほっとなる通り

①-6



名古屋市大須地区

①-7



名古屋市市道豆田町線

①-8



東京都お台場

①-9

シーン② 傾斜、段差がある歩道の改善

- これまでに出了た意見・アイデア
- ・歩道の傾斜がない（車いすにも優しい）
 - ・歩道の荒れ、ひび割れ、凹凸、段差（が課題）
 - ・冬に凍結して滑る など



▶参考 前回ワークショップで挙げられた参考になる他都市の事例写真



松本市大名町通り フルフラット化社会実験



社会実験の様子

シーン③ 夏の歩道の快適性確保（現状は日陰がなく舗装面からの照り返しも強い）



■これまでに出了た意見・アイデア
・アスファルトでない涼しさを感じられる歩道と車道

▶参考

遮熱性舗装：日射エネルギー量の約半分を占める近赤外線を再帰性能（太陽方向に戻る）を高めた形で高反射して、舗装路面の温度上昇を抑制する舗装。一般の舗装よりも表面温度の上昇を抑制できるため、歩行者空間や沿道の熱環境の改善、ヒートアイランド現象の緩和が期待されています。

右写真は、目黒区での導入事例「めぐろスマートライフHP」

<https://www.megurosmartlife.jp/syanetusei/>



目黒川沿い 共済病院付近



補助30号 西小山付近

シーン④ 雨天時、豪雨時の快適性・安全性の確保

(深志二丁目交差点付近は松本市ハザードマップにも注意記載あり)



■これまでに出了た意見・アイデア

- ・透水性のある舗装にしたい
- ・アスファルトでない涼しさを感じられる歩道と車道

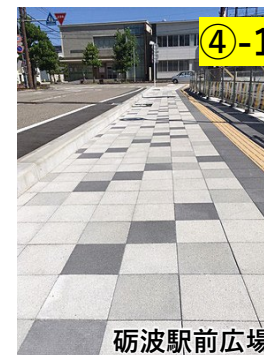


▶参考

透水性舗装：透水性を持つ材料を表層や基層、路盤に用いることによって雨水などを地中へ浸透させる舗装。雨天時の歩行性の向上、雨水流出抑制効果、路面温度の上昇抑制等の機能を有する舗装で、都市部の生活環境を改善し、ヒートアイランド現象の抑制が期待されます。

保水性舗装：舗装体内に保水された水分が蒸発し、水の気化熱により路面温度の上昇を抑制する性能をもつ舗装。一般の舗装よりも舗装体内の蓄熱量を低減するため、歩行者空間や沿道の熱環境の改善、ヒートアイランド現象の緩和が期待されています。

参考HP <https://www.coolhosouken.com/> <https://www.toyo-kogyo.co.jp/landscape/>



砺波駅前広場

【施工事例】



埼玉県所沢市市道

⑤参考：他都市の事例



事例の追加予定

